

# 川の氾濫に備えた避難制練は実施していますか?

# ~ 火災の避難訓練に合わせて実施できます ~

避難訓練には様々な種類があります。

訓練種類の一例を示しますので、火災の避難訓練に合わせた実施が可能ですので、 下記【A】の訓練に加え、【B】から【E】いずれか1つ以上の訓練を毎年1回実施し、市 に報告しましょう。

#### 【A】情報伝達訓練

様々な災害を想定し、必要な情報の収集から職員等への情報伝達、避難判断の意思決定を行います。

気象情報等の発令・発表から避難完了までのシナリオを作成し、職員役、利用者役、 家族役など役割分担を決めて訓練を進めます。

#### おすすめ

# WEBで【A】の訓練実施及び市に報告が可能 →

QR コードからスマートフォンで訓練実施と市への報告が可能 (所要時間 5 分)





#### ↓【B】~【E】の訓練を組み合わせて1つ以上実施

# 【B】図上訓練

主に職員が、避難確保計画、ハザードマップ、施設の館内図などを用いて、避難場所等までどのように避難誘導をするかなどを確認する訓練です。 災害に応じた行動を確認しましょう。

裏面は【C】~【E】と市への報告方法、問合せ先

#### 【C】避難経路の確認訓練

避難確保計画に記載した避難場所、避難経路を確認し、安全な避難誘導について確認します。

計画作成後に、避難経路となっている道路等に変更が生じていないかの確認はもちろんのこと、安全が確保できる避難経路や方法となっているか改めて確認しましょう。

# 【D】垂直避難(屋内安全確保)訓練

実際に、施設利用者等を施設内で屋内安全確保するための避難先居室等に避難誘導する訓練です。

想定した災害に応じて、気象警報等発令・発表から施設内の上階等にある避難先 居室等への避難完了まで行います。

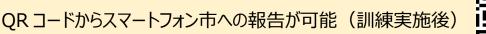
ただし、施設利用者等への負担が大きい場合などは、職員を施設利用者等の代役として避難訓練するなど、施設の実情に合わせた訓練をしてください。

# 【E】持ち出し品の確認訓練

避難誘導等に用いる資器材等の確認や、実際に持ち出す場合の所要時間や人数などを確認する訓練です。

利用者等にあわせた器材や食事の提供が必要となる場合もあるため、いざという時に素早く対応できるように具体的な持ち出し品を確認しておきましょう。

# 【B】~【E】の訓練を実施後、WEBで市への報告が可能 →





避難訓練(避難確保計画に基づく)の実施と市町村長への訓練結果の報告が法律で義務化されています(水防法及び土砂災害防止法)。

#### 回答・問合せ先

寝屋川市 危機管理部 防災課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号(本館3階)

TEL:072-825-2194(直通)

MAIL: bousai@city.neyagawa.osaka.jp